

令和3年度津商工会議所経営発達支援計画の実績報告書

■評価対象期間		令和3年4月1日～令和4年3月31日（12ヶ月間）			
■評価項目					
◎ 数 値 項 目	実施状況	令和3年度実績			昨年度実績
	項 目	実績（A）	目標値（B）	達成率（A/B）	（参考）
	1 地域動向調査（公表回数）	2回	2回	100%	2回
	2 経営分析事業者数	133社	128社	104%	125社
	3 事業計画策定事業者数	162社	96社	169%	269社
	事業計画策定件数	206件	—	—	422社
	4 計画策定後の支援事業者数	115社	96社	120%	116社
	（1）フォローアップ回数（カルテ数）	995回	384回	259%	1,310回
	（2）売上の増加事業者数	50社	39社	128%	—
	（3）利益率の増加事業者数	57社	39社	146%	—
	5 個社の需要動向調査件数	0社	10社	0%	0社
6 新たな需要の開拓に寄与する事業への参加企業数	13社	25社	52%	7社	
◎ 事 業 項 目	実施状況				
	1	<p>地域の経済動向調査に関すること 地域の経済動向を把握するため、年2回（1～6月期、7～12月期）景況調査を実施し、「津市の景況」を取りまとめた。 また、小規模事業者のみを抽出し、県内12商工会議所のデータを集計した結果を「三重の景況」としてプレスに発表し、7紙が記事として取り上げた。</p>			
	2	<p>経営状況の分析に関すること 経営分析シート、独立行政法人中小企業基盤整備機構の経営自己診断システム等を活用した経営状況の分析を133社行った。</p>			
	3	<p>事業計画策定支援に関すること 事業計画策定事業者数は、162社に対し、三重県版経営向上計画作成支援を62件（ステップ2は61件、ステップ3は1件）、小規模事業者持続化補助金の申請に係る事業計画作成支援を67件（一般型50件、低感染リスク型17件）、事業再構築補助金に係る事業計画作成支援を18件、三重県の新型コロナ克服生産性向上・業態転換支援補助金に係る計画策定支援を21件、小規模事業者経営改善資金融資（マル経）に係る簡易返済計画（経営計画書）策定が16件、事業継続力強化計画、経営力向上計画、先端設備等導入計画等の策定支援22件の合計206件の計画策定支援を行った。</p>			
	4	<p>事業計画策定後の実施支援に関すること 事業計画策定事業者数162社の内、115社に対して巡回・窓口において事業計画支援の必要性や作成に関する相談、計画のブラッシュアップ等のフォローアップを延べ995回行った。 （2）売上の増加事業者数・（3）利益率の増加事業者数に関する項目は、令和3年度実績が確定した翌期（令和4年度）に実績値として計上するため今回の実績は未計上とする。</p>			
	5	<p>需要動向調査に関すること 新型コロナウイルス感染症の影響から需要動向調査を行うイベントの中止等により需要動向調査が実施できなかったため実績はなし。</p>			
6	<p>新たな需要の開拓に寄与する事業（事業計画作成支援した企業に対する参加企業） 津まつり（津YEGエリア）、ミナツドエが中止となり、支援先企業の出店はなかった。 また、支援先企業の会報誌の会員情報ボードによる情報提供が7件、販路開拓による専門家派遣の実施が6件あった。</p>				

法定経営指導員 所見 (村田浩二)

令和3年度の経営発達支援計画の目標値に対して「2経営分析事業者数」「3事業計画策定事業者数」「4計画策定後の支援事業者数」は達成しています。要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響により補助金等の支援施策に係る三重県版経営向上計画の策定が必須になったことによるものであります。

「5需要動向調査に関すること」「6新たな需要の開拓に寄与する事業」については、昨年度に続き津市主催の創業イベント「ミナツドエ in 津」や津まつり等のイベントが中止となったため調査ができなかったことに加え、コロナ禍による感染防止の観点から個社支援にかかる時間的な制約もあり、実施できない状況にありました。引続き小規模事業者の支援ニーズの高い、補助金等の事業計画策定に加え、新型コロナウイルス感染症関連施策に係る計画作成支援から「2経営分析事業者数」「3事業計画策定事業者数」「4計画策定後の支援事業者数」の目標を上回る結果となりました。

外部評価者のコメント

I. 総論

令和3年度(昨年度)は「津商工会議所経営発達支援計画(第II期)」2年目でしたが、新型コロナウイルス禍の影響が、昨年度ほどではないものの、様々な局面で見られる年度となったようです。

II. 数値項目の評価

「新型コロナウイルス禍で実施を見送らざるを得なかった項目」を除き、全ての項目で目標値を上回る数値となり良好な結果となっています。このことは、「伴走型の経営支援を推進するけん引役を果たしている」結果であると高く評価します。

ただ、昨年度実績比では実績値が下回る項目もありますが、昨年度実績は、新型コロナ禍発生直後の年度での異常値であったことによるもので、止むを得ないものと判断します。

II. 事業項目ごとの評価

1. 地域の経済動向調査

毎年実施している「地域の経済動向調査」は本年度も上・下、年2回確実に実施し、プレス発表した結果、7紙が記事として取り上げられました。

毎年の定点観測として結果を蓄積し、変化を把握できるよう、今後も継続いただきたい。

2. 経営状況の分析

経営分析実施事業者数は133社(目標比104%)と良好な結果となっています。

自社事業を客観的に見ることの苦手な中小企業にとって、「気づきのきっかけ」となるものであり、その意義は大きく、また経営指導・伴走の出発点ともなるものであることから、今後ともさらなる取組みの強化をお願いしたい。

3. 事業計画策定支援

目標96社に対し、162社(目標比169%)と大幅な達成となっています。新型コロナ対応の補助金関係があったにせよ、その結果は大いに評価できます。

そのことがまた、三重県版経営向上計画62件、持続化補助金67件、事業再構築補助金18件、その他補助金21件、マル経に係る計画16件、その他22件、合計206件の事業計画策定に繋がっています。

4. 事業計画策定後の実施支援

目標96社に対し、115社(目標比120%)で実施しています。また、計画策定後のフォローが995回(目標比259%)に及ぶことは称賛に値します。今後も、「経営分析→事業計画策定→策定後のフォロー→結果の検証→必要なら再計画策定」という「経営指導サイクル」を回していただきたい。なお、「売上増加事業者数」、「利益率の増加事業者数」の計画及び実績は、今年度から検証対象となる項目のようです。

5. 需要動向調査

新型コロナウイルス禍により、需要動向調査を行うイベントが中止となったことから、本件は実施されていません。

6. 新たな需要開拓に寄与する事業

「津まつり(津YEGエリア)」、「ミナツドエ」が中止となり、支援先企業の出店を促すことはできなかったようですが、会報誌への情報掲載7件、販路開拓の専門家派遣6件の実績がありました。

なお今年度の「津まつり(津YEGエリア)」、「ミナツドエ」は新型コロナ対策を講じた上で、実施方向で検討中とのことであり、ウィズコロナで市中に活気が戻ることに期待したい。